



5月22日(火)中学校は新体力テストでした。一部の生徒は、体育館集合時には、水分補給のための水筒と一緒に「本」を持ってきていました。測定の合間に、本を読む余裕はありましたでしょうか。



5月24日(木)は第1学期中間考査、中学校はこの1日のみでした。朝から、「勉強できましたか」と尋ねると、生徒は「微妙(?)」、「う〜ん」、「まずまず」という返事でした。

考査の数日前から、学習時間調査(写真)が廊下に掲示してありました。考査に向けて取り組んだ証です。日常の学習、考査と経験を積みながら、一人一人の学習スタイルが確立されていきます。



### <体育祭の感想・思い>

写真は紅団団長 松本さんと紅団のリーダーです。



私は今年、紅団の応援リーダーとして、春休み前から練習・準備に取り組んできました。附属中学生の時から5年間、見続けてきた先輩方の立場に、高3となった今年立ってみて分かる苦労や責任の重さがたくさんありました。限られた時間で決めなければならない人文字や演舞。20時間という短い時間で完成させなければならないというプレッシャー。きつと感じることは何度もありました。しかし、他のリーダーたちや

団員、3年生の支えもあり、やめたいと思うことは一度もありませんでした。そして、当日。短縮版とはなりましたが、それでも一人一人が精いっぱいがんばり、必死に声を出す姿は本当に感動しました。中学生の時から憧れてきた先輩たちのように自分も後輩たちに、感動を与えられたと思います。

高校生と附属中学生が一丸となって創る体育祭。本校6年目となった今年、改めてその良さを実感することができました。最上級生であるという自覚、いつか先輩のようにという目標、6学年それぞれに新たなものが芽生えたと思います。(玉名高校 森さん)

私にとって最後の体育祭が終わりました。

今年、私は競技責任者になりました。選手決めや朝練など大変でしたが、リーダーやスタッフ、団員のみんなの協力のおかげで体育祭を成功させることができ本当に良かったです。また、青団は人文字、中学生の集団演技の部ともに優勝することができました。中学生の集団演技はとても息が合っていて、すごかったし、人文字も間違いが少なくてきれいでした。もう来年は、この体育祭に参加できないと考えると寂しいですが、最高の思い出ができて良かったです。(玉名高校 安成さん)



考査前、質問のために職員室を訪れる中学生の姿がありました。また、遅くまで灯りのついた教室をのぞいてみると、玉高生が残って勉強していました。考査に向かう姿はそれぞれです。

2018.5.28 副校長 山部